

2015年8月4日から8日まで、学術交流団の一員として平壤に行ってきました。

勿論、初めての北朝鮮であり、平壤です。錦繡山太陽宮殿（写真撮影不可）や人民大学習堂などの巨大建築物に目を見張らされました。日頃、身体にまとわりつくような臭いと喧騒にあふれる中国とお付き合いをしている人間にとって、臭いもなければ音もしない平壤の街は、とても異質な世界でした。訪問の主目的である専門家との意見交換では、アメリカや日本に対する強い敵意を感じました。そして、平壤空港を離発着する航空機が一日わずか数便という現実を知り、北朝鮮が直面する厳しい内外環境を実感しました。

北朝鮮を再び訪問できるのなら、自由行動の時間が確保されることを期待しています。デパートに行きたいし、バスにも乗りたい。また、平壤以外の地方都市にも行ってみたいと思います。ありのままの北朝鮮を知りたいので。



交通整理にあたる女性警察官 8月5日